メールアドレスを追加する

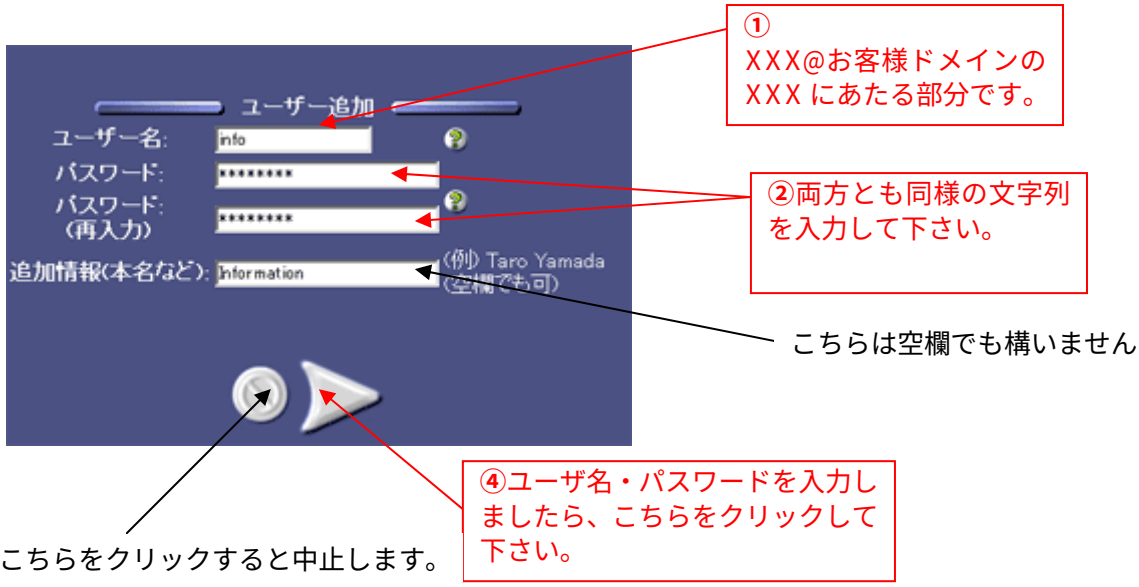
このページでは、「@お客様のドメイン」を使って新しいメールアドレスを追加する方法を説明します。尚、この操作はドメイン管理者さまのみ利用可能です。

手順1．HDEコントローラにログインします。

手順2．スタートページから、ユーザー設定をクリックして下さい。

手順3．左メニューの「ユーザーの追加」をクリックします。

手順4．ユーザ名、パスワードを入力します。



① **ユーザ名の入力**

XXX@mydomain.co.jp の XXX に該当する部分を設定します。
ここは、お客様が自由な文字列（下記使用可能文字の範囲で）で設定可能です。
1～20 文字程度の間で、決定して下さい。

[但し以下の文字列のみ使用することは出来ません]

admin … システムの管理ユーザとして使用していますので利用できません。

HDE コントローラのログインID … ドメイン管理ユーザとして使用していますので、利用できません。

ユーザ名に利用可能な文字（全て半角入力が必須です。）
- ○ ローマ字の小文字（a ～ z）
- ○ 数字（1～0）
- ○ 次の記号 「.」ドット 「-」ハイフン 「_」アンダーライン
  上記以外の記号は使えません。

ここで決定したIDは、メールユーザIDの他、メールアドレス所有者用のユーザIDとしても利用されます。

② **パスワードの入力**

メールアドレスのログインパスワードを設定します。
8 文字以上 20 文字以下程度のパスワードを決定してパスワード、パスワード（再入力）に同様のものを入力して下さい。ここで設定したパスワードは、後で分かるよう一時的に書き留めておくようにしましょう。

（紙などに手書きすると、似た文字を間違えてしまう可能性があります。例えば小文字エルと数字の 1、大文字オーと数字のゼロなど。これを防ぐには、テキストエディタやエクセルを利用して保存しておくのがよいでしょう。）

パスワードに利用可能な文字（全て半角入力が必須です。）

ローマ字の小文字、大文字（a ～ z、A ～ Z）

数字（1～0）

次の記号
! # % & ( ) = ~ ^ | + - *
/ , . : ; < > ? [ ] _ { } $

パスワードの決定で注意すること

お客様が決定するパスワードをお知らせいただくと、自分の名前やニックネームなど覚え易いパスフレーズを設定している方が多数です。しかしながら、これらのパスフレーズは他人においても予測しやすいのです。メールアドレスパスワードは、一度設定してしまえば、頻繁に必要となることはありません。従って安全を考え、意味の無い文字列をパスフレーズに使用して下さい。

大文字小文字を混在させる。意味の無い場所に数字、記号を混ぜるなど

③　追加情報は、管理者がメールアドレスの管理を容易にするために、設定メールアドレスの所有者名などの情報を入れることが可能です。ここは、空欄でも構いません。

（使用できる文字は、ユーザIDと同様です。）

④　**以上を設定したら、三角マークをクリックして次へ進みます。**

［以下の場合エラーとなり先に進めません］

- 2つのパスフレーズが一致しない場合
- 使用禁止の文字を使用していた場合
- 最低文字数以下、最高文字数以上の文字数を使用した場合

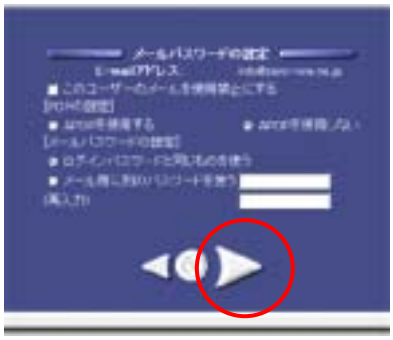
エラー音と共に、エラーメッセージが表示されます。該当する箇所を修正して再度やり直してください。

手順5．ここではメールの転送に関する設定をします。

尚、メールの転送設定は、各メールアドレスの管理画面で設定可能です。
従って、ここでは転送設定の説明は省略します。
この時、転送設定したいお客様は、メールアドレス管理者用の転送設定マニュアルをご覧下さい。

三角マークをクリックして次に進みます。

手順6．ここではHDEコントローラのログインパスワードとメールパスワードを別のものにする場合に設定します。両方同じで構わない場合は、そのまま三角マークをクリックして先に進みます。



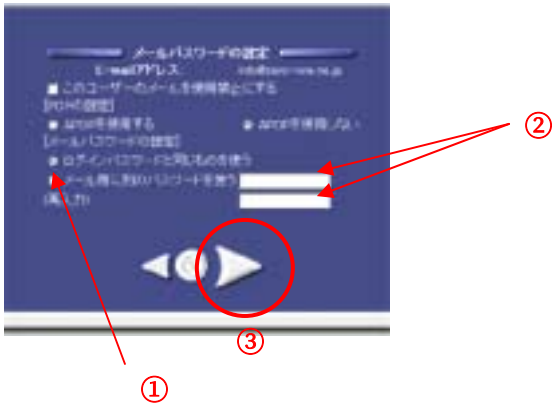
より安全を高めたい場合は、HDEログインパスワードとメールパスワードを別のものに設定できます。また次のような場合は、ここで別設定にすることをお勧めします。

○　メールユーザが勝手に、メールパスワードを変更するのを防ぎたい場合。
○　メールユーザが勝手に、転送設定を行うのを防ぎたい場合

別パスワードの設定方法

① 「メール用に別のパスワードを使う」をチェック
② メール用に決定したパスフレーズを入力、また同様のものをその下に再度入力
③ 三角マークをクリックして先に進みます。

HDEコントローラ、メールパスワード別のパスワードで設定した場合、ここで設定したパスワードがメールパスワード（　メールソフトのメール設定時に使用するパスワード　）となります。

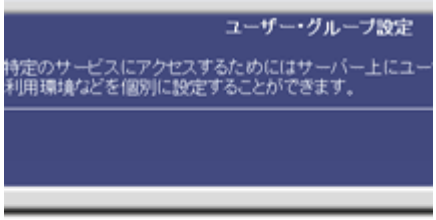


手順7．**「設定する」をクリックします。**

この画面では、FTPアクセス制御と出ていますが、共用サーバご利用のお客様に与えられるFTP用IDは、環境設定通知書記載のIDひとつのみです。メールユーザ毎にFTP　IDを与えることは出来ません。

また、ここで言う「このドメイン」とは、設定するユーザ名の事で「お客様のドメイン」を表すものではありません。

手順８．「設定が完了しました。」のメッセージが表示されたらを「OK」をクリックします。
以上で、メールアドレス追加の設定は終了です。



念のため、設定したメールアドレスをお使いのメールソフトに追加設定して送受信のテストを行ってください。無事送受信が出来れば設定可能です。

■ メールソフトの設定時の注意 ■

ここで設定したユーザIDをそのまま設定してしまうとエラーとなります。
アカウント名は
設定したIDの後に、『%』「お客様のドメイン」を付けた文字列を入力して下さい。

例えば、info@mydomain.jp というメールアドレスを作成したとします。
ここで ID にあたる部分は、「info」となりますが、これをメールソフトのアカウント名欄に設定しても認証エラーとなります。メールソフトのアカウント名に入力する文字は、

ID + % (半角パーセント)+ お客様のドメイン名

つまり上記の場合だと

info%mydomain.jp がアカウント名となります。

（その他）MicroSoft Outlook Express　での設定を例に

□　受信サーバの種類はＰＯＰ３です。
□　受信サーバ名(POP3)・送信サーバ名(SMTP)※は両方とも「mail.お客様のドメイン名」となります。
□　「セキュリティで保護されたパスワード認証」にはチェックをしないで下さい。

※　お使いのプロバイダが　Outbound Port25 Blocking　の対策を施している場合は、設定方法が違います。各プロバイダにお問い合わせ下さい。
関連資料…「Outbound Port25 Blocking　の対策について」参照

■ HDE コントローラで出来ること ■

設定したメールアドレスに対し、以下の操作が HDE コントローラで可能です。

[ドメイン管理者が出来ること]

○ メールユーザ毎のメールボックス容量の制限
○ メールボックスの容量制限（一括）
○ メールユーザ毎の設定変更
○ メールユーザの削除
○ メールユーザの一覧ＣＳＶダウンロード
○ メールユーザの一括削除
○ メールユーザの一括登録

[メールアドレス所有者が出来ること]
※ 但し、ドメイン管理者が許可した場合

○ ログインパスワードの変更
○ 追加情報の変更
○ メールパスワードの変更
○ メールの転送設定
○ 自動返信メールの設定
○ ステータス表示

各操作は、それに対応したマニュアルを参照して下さい。（無いものもございます）